

DP-36868

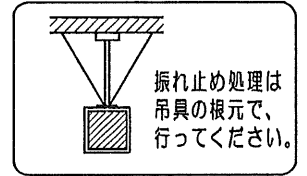
(一般屋内用) ・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、取扱説明書にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 吊具に衝撃を与えたり、改造したりしない。落下の原因となります。
- 傾斜天井・壁面への取付けはしない。天井取付け専用吊具です。落下の原因となります。
- 適合器具以外使用しない。落下の原因となります。
(器具の取扱説明書またはカタログにてお確かめください。)
- 開放廊下等、風の強い所では振れ止め処理を行う。落下の原因となります。

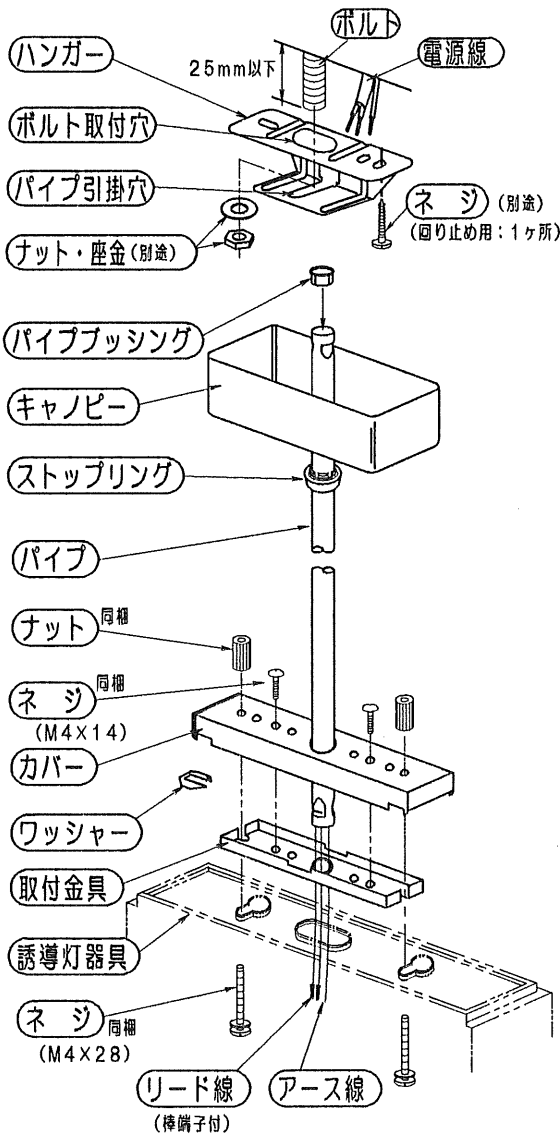


注意

- この吊具は一般屋内用吊具です。雨水のかかる場所、湿気が多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。

※取扱説明書中の図は、一部簡略・抽象化しています。

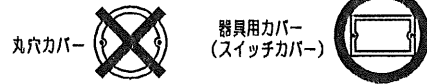
各部のなまえと取付けかた



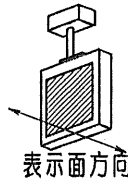
1. 取付け前の確認

- ・ 許容荷重 (15kg) に十分耐えるよう取付部の強度を確保する。不備がありますと落下の原因となります。
- ・ ネジにて取付けされる場合は、誘導灯の表示面の方向とボックス、カバーの方向が一致しているか確認してください。
- ・ ボックスに取付ける場合は、ボックス用のカバーをご使用ください。

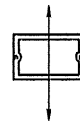
※丸カバーは使用出来ません。



【使用状態】



(器具用カバー) 表示面方向

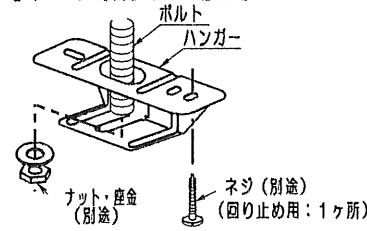


※取付後、表示面方向の回転はできません。

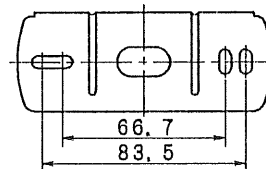
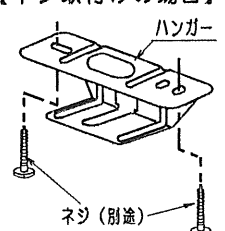
2. ハンガーの取付

- ・ ハンガーをボルト (W3/8またはM10) またはビス (別途) にて天井に確実に取付けてください。不備がありますと器具落下の原因となります。

【ボルト取付けの場合】



【ネジ取付けの場合】

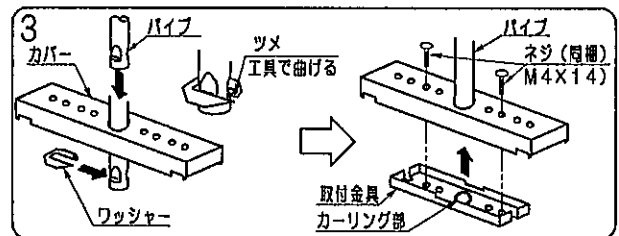


・ 66.7と83.5の穴はボックス専用取付け穴です。

3. カバー・ワッシャー・取付金具の取付

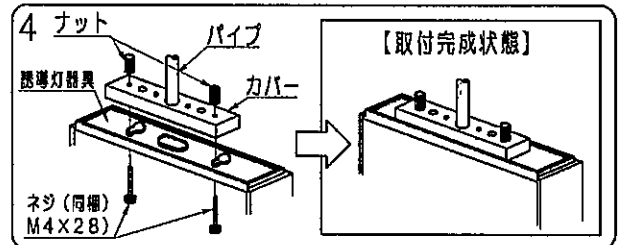
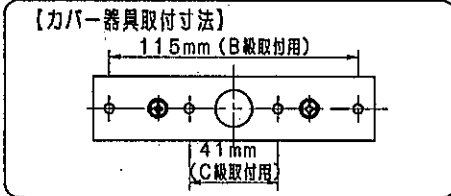
- ・パイプ下端よりカバーを通す。
- ・ワッシャーの溝部分をパイプに挿入する。
- ・抜け防止のためツメを工具で曲げる。
- ・取付金具を図のようにセットし、同梱のネジ (M4×14) で2ヶ所 取付ける。
(取付金具のカーリング部をパイプ穴に合わせてください。)

不備がありますと落下の原因となります。



4. 誘導灯本体の取付

- ・カバーを同梱のネジ (M4×28) ・ナットにて2ヶ所 誘導灯本体に固定する。
接続が不完全な場合は火災の原因となります。
- ・誘導灯器具により、カバーの取付穴が違いますのでご注意ください。

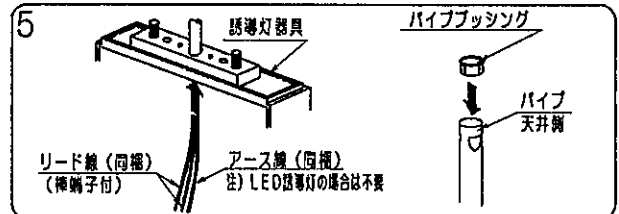


5. リード線の接続

- ・同梱のリード線の棒端子付きでない側とアース線を誘導灯器具よりパイプに通す。
- ・パイプの天井側 (ハンガー取付側) に同梱のパイプフッティングを取付ける。
パイプフッティングは確実に取付けてください。感電の原因となります。
- ・棒端子付リード線を誘導灯の端子台に接続する。

注) アース線を誘導灯アース端子に接続する。 (注) LED誘導灯の場合は二次電圧が150V 以下のため、接地 (アース) 不要です。

接続が不完全な場合は火災の原因となります。

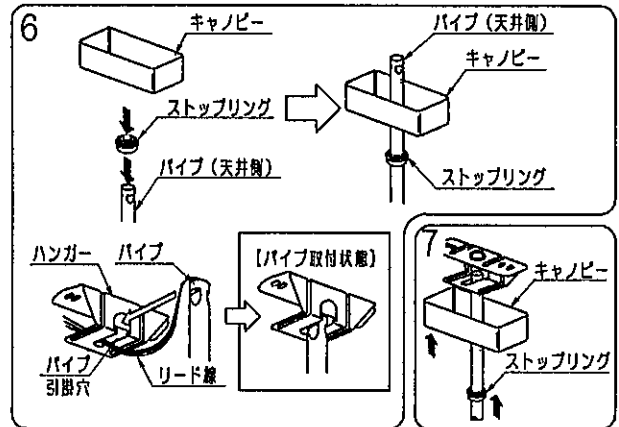


6. パイプの取付

- ・パイプにストップリングとキャノピーを通す。
 - ・ハンガーのパイプ引掛穴にリード線を通した後、パイプを確実に取付ける。
 - ・パイプが抜け落ちないことを確認ください。
- 不備がありますと落下の原因となります。

7. キャノピーの取付

- ・電源線とリード線・アース線の絶縁処理を確実に施し接続する。
接続が不完全な場合は火災の原因となります。
- ・キャノピーを天井面に押し当てストップリングにて固定させる。
不備がありますと落下の原因となります。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 吊具を改造しない。感電・火災の原因となります。
- アルカリ系洗剤を使用しない。強度低下による破損の原因となります。

注意

- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。
- 3～5年に1回は、工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ

- 吊具の清掃について・・・ ◆水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。

商品についてのご相談・お問合せ

商品のお問合せ、修理、アフターサービスのご相談は、器具本体に貼付している器具銘板で品番をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、工事店、もしくは右記のCSセンターまでご連絡ください。

商品についてのご相談

【CSセンター】 (0570) 003-937 (ナビダイヤル) へご連絡ください。

※受付時間 (月～土曜日) 9:00～17:00 日曜・祝祭日は受付していません。

大光電機株式会社

本社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F

TEL (06) 6222-6240 (代)